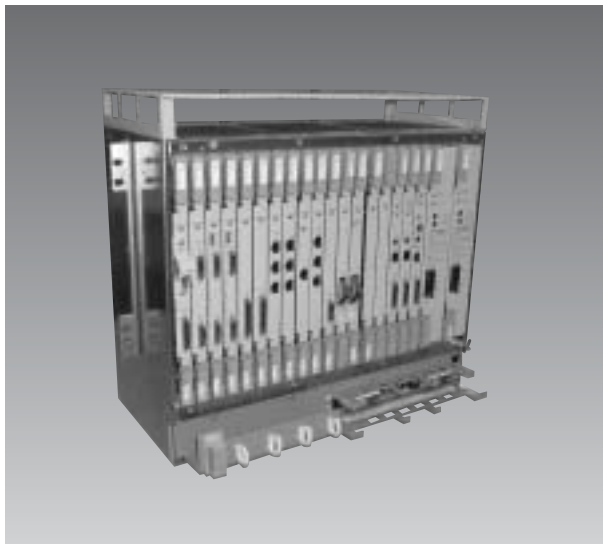


# ハイブリッド多重装置：HS-150



HS-150

本装置は、150M光伝送路内を時分割多重とセル多重の二つの領域で使用できるハイブリッド多重伝送方式を採用することにより、高信頼POTS<sup>注1)</sup> / IP統合ネットワークを提供します。

同期回線、音声回線は時分割多重伝送することで高品質高信頼化を実現し、イーサネット回線はセル多重伝送により、帯域の共有化および有効利用を可能としました。

## 特長

- 1) ハイブリッド伝送方式の採用により、伝送路内の時分割多重とセル多重の帯域は、トラフィックにより、任意に割り当てが可能です。
- 2) コンパクトな筐体とラインカードで、多くのラインセットを収容可能としました。省スペースで小規模なネットワークに最適です。
- 3) 1台の装置から複数リングネットワークへの接続が可能です。また、本装置を介して二つの異なるリング間を接続することも可能です。
- 4) 伝送路の二重化および装置共通部の二重化に加えて、主信号は端末インターフェースパッケージの入力部まで完全二重化を実現しています。

- 5) 直接収容したイーサネットデータは光伝送路内をセル多重伝送方式で伝送して、N：N通信を実現できます。セル多重領域はすべてのノードで共有されるため、帯域の有効利用が可能になります。

また、離れた場所にあるLAN同士を一つのLANとして扱うことが可能となります。

- 6) さまざまなネットワーク形態やQoS (Quality of Service)<sup>注2)</sup>、セキュリティなどの要求に対応するLAN収容機能を実現しました。

### ①帯域分割機能

光伝送路内に、複数のセル多重領域を定義して、帯域分割が可能です。

### ②グループ機能

同一帯域内に仮想セグメントを構成することができます。

### ③送信アドレス固定機能

装置から光伝送路側への送信アドレスを固定することにより、各装置間の通信を制限することができます。

### ④MACアドレス・フィルタリング機能

登録されたMACアドレスの端末だけが通信を

注1) Plain Old Telephone Serviceの略。従来のアナログ電話回線サービス、もしくは、これらのアナログ通信で利用していた0.3～3.4kHz程度の低い周波数帯域部分をPOTSと呼ぶ。

注2) 通信の目的に応じて最適な帯域割り当てを行うことで、それぞれの通信に求められるレスポンスタイムやスループットを確実に確保するための技術。

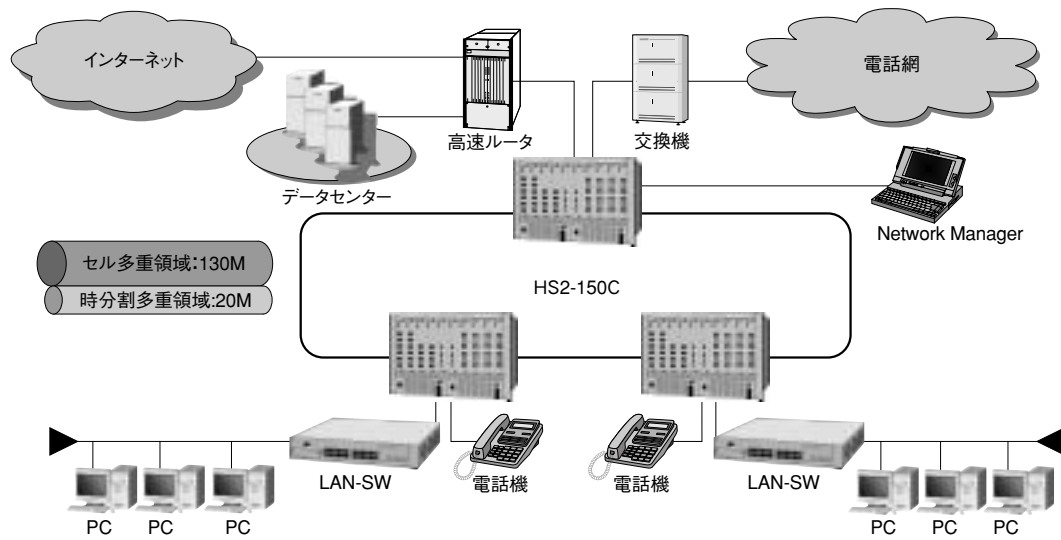
行えるようにフィルタリングが可能です。

⑤流入量制御機能

LANポートから光伝送路へのデータ流入量を制御して、共有帯域内のトラフィックを制御することができます。

⑥MACアドレス学習機能

各ノードは配下の端末のMACアドレスを学習して、端末からのデータを特定のノードに送信することができます。



HS2-150C システム構成例